

教育の広場



七郷小学校

ふれあいと 友情あふれる 七小まつり

十一月五日(土)に、彩の国教育週間の取組の一環として、本校では「七小まつり」が開催されました。今年度は、体育館工事等に伴い、昨年までは内容を変更して取り組みました。これまでの七小まつりをさらに発展させ、「お客として参加する楽しさ」に加え、「人を招く楽しさ」を味わうことができた笑顔あふれるおまつりになりました。

七小まつりは、クラスの仲間が協力し、望ましい人間関係を築くとともに、他学年との交流を深めたり、保護者や地域の方々と触れ合ったりすることを目的としています。一年生から六年生、なかよし学級が、それぞれ思い思いの店を開き、たのしいすごろく、あきのみランド、キャップホットケーキ、カンたおしなど、それぞれ工夫を凝らしたお店が並びました。その中には、秋

の実など自然を生かした遊びを考えたり、地球環境に配慮した材料を使ったりした上に、大人用・子ども用のコーナーや順番を待っている間のキッズコーナーを設けるなど、相手を楽しませようとする配慮がたくさん見られました。

事前の準備から当日の運営まで代表委員会が中心となって進め、全校児童が自主的に取り組むことができました。当日は、小さな子ども達からお年寄りの方々まで、一緒に活動することとなり、お店番の子どもたちの声がとても弾んでいました。尚、出席児童のすべての保護者の方と、たくさんの地域の方が御来校くださいました。保護者や地域の皆様の学校教育への関心の高さと「親の力」「地域の力」を強く感じました。子どもたちの笑顔があふれる一日になったことを皆様に感謝し、職員一同改めて気を引き締めて七郷小学校の教育活動に取り組んでいきたいと思っております。



教育相談室

進路選択を控えた 保護者の皆様へ

中学三年生になると、進路に関連した担任との面談、実力テスト、高校で行われる学校説明会等、いろいろと準備が始まります。お子さんの受験先が、初めから決まっている訳ではありません。いろいろと悩んだ末に決められているご家庭も多いと思います。

肝心なことは、高等学校に入学することがゴールではありません。十五歳の春をどこでスタートするかを決めているだけではなく、この高校へ入学するかが重要なのではなく、入学先で何をし、何を学びたいのかが大切なのです。

子ども達は、いずれ「自分の力」で生きていかななくてはなりません。幼い頃の砂遊び、毎日の読書、小学校の時の友達との外遊び、中学生になっての好きなことへのこだわり、これら全てが、学習への意欲、集中力に結びついていきます。また、部活や興味・関心を持った事から得られる集中力もひとつの力です。学校行事、委員会活動、奉仕活動から得る成就感も、力となって身に付いていきます。この集中力や成就感等が学習を進めていく上で大切になってきます。

学習を進め、学力を向上させるためには、学校での授業が大切なことは言うまでもありません。しかし、学力を身に付けるためには、家庭での取り組みも不可欠です。もう一度自分の力でやってみる「自学」が、

嵐山幼稚園

感動や喜びの体験を!



上級学校では重要になります。そして、自ら学ぶ力を身に付ける事が、社会人として、心豊かに力づくよく生きていく力の基礎となっていくことでしょう。

一月になると、私立高校の入試、三月には、県公立高校の入試がありますが、ご家庭でも受験生に合わせた生活にご協力をお願いいたします。

昨年、県の教育委員会からも保護者の皆様へ、こんなお願いがありました。

- 生活のリズムをつくり、学習しやすい環境を整える。
- 朝食、夕食を決まった時間に用意する。
- 子どもが学習している時は、お家の方も読書などをして過ごす。

○ニュース、新聞、読書などを話題に、社会の歴史、地理、国語の漢字など一緒に学習したりする。

などです。ぜひ、ご家族で取り組んでみてください。

そして、頑張っているお子さんを認め、ほめてください。きっと自信につながり、希望を持った高校生活を迎えられると思います。困ったことがありますしたら、担任や学年主任にお声がけください。

